

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）
公募型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

制度、文化、公共心と経済社会の相互連関

研究テーマ名

共感形成の社会基盤とソーシャル・ビジネスを活用した新産業創造の研究

責任機関

学校法人同志社 同志社大学

研究実施期間

平成27年10月～平成30年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者 八木 匡	同志社大学・経済学部・教授
〈共助社会グループ〉 グループリーダー 奥野 信宏	中京大学・理事
分担者 小川 光	東京大学・大学院経済学研究科・教授
〈共感・モラル・信頼 理論研究グループ〉 グループリーダー 西村 和雄	神戸大学・経済経営研究所・特命教授／ 京都大学・経済研究所・ 特任教授
分担者 宮澤 和俊	同志社大学・経済学部・教授
〈芸術文化・社会資本 整備グループ〉 グループリーダー 伊多波 良雄	同志社大学・経済学部・教授
分担者 佐々木 雅幸	同志社大学・経済学部・教授

<信頼・互酬性グループ> <u>グループリーダー</u> 池田 謙一	同志社大学・社会学部・教授
分担者 安田 雪	関西大学・社会学部・教授
<被災地復興ビジネスグループ> <u>グループリーダー</u> <u>松野 光範</u>	大阪学院大学・経済学部・准教授（元コンサドーレ・札幌GM）
分担者 <u>菅原 昭彦</u>	気仙沼市商工会議所会頭

※実務者は氏名に二重下線

配分（予定）額

（単位：円）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
2,880,000	3,870,000	3,250,000	1,260,000

※平成28年度・平成29年度・平成30年度については予定額

研究目的の概要

共感と信頼が醸成された社会基盤の下で、新たなる公共を育成し、都市機能の向上と新産業育成を促進する必要がある。本研究では、共感と信頼形成のメカニズムを理論的および実証的に分析し、誘因整合的なソーシャル・ビジネスのあり方とそれを用いた新産業創造を実践的に研究する。

研究計画の概要

共感と信頼形成のメカニズムに関しては、Benabau and Tirole の基礎モデルをコミュニティレベルでの誘因構造モデルに発展させて分析する。また、ソーシャル・ビジネスの実践的研究では、NPO と共同で東北三陸地域をベースに、人材育成とソーシャル・ビジネスによる新産業創造を企画し、実践していく。